

別記様式第1号（第4条関係）

環の拠点創出事業準備委員会 開催結果の要旨

会議名	第1回 木津川市環の拠点創出事業準備委員会		
日時	平成25年2月14日（木） 午後1時30分から午後4時30分	場所	木津川市役所 5階全員協議会室
委員	<p>■山崎 正史（会長）、■岡井 有佳（副会長） ■福井 保知、■川邊 隆司、■坂本 利正、■杉野 耕造、 ■辻 忠、■出栗 伸幸、■花田 啓、■藤原 久博、 ■吉村 由美子 ※□：欠席者</p>		
出席者	<p>【オブザーバー】 京都府山城広域振興局企画振興室 室長 辻村 徳夫 京都府総務部自治振興課 参事 藤岡 栄 【市関係部署】 山城支所 支所長 松井 功 生活環境部観光商工課 課長 武田 浩文</p>		
事務局	尾崎課長、奥田係長、西村主任		
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員紹介 3. 市長挨拶 4. 会長及び副会長の選出 5. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の役割及び運営（資料1、別紙1、別紙2） (2) 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・環の拠点創出事業の概要（資料2） ・自転車利用者アンケート調査（資料3、別紙3） 6. その他 7. 現地視察（別紙4） 8. 閉会 		
審議結果要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 事務局より、開会を宣言した。 2. 委員紹介 委嘱状を交付し委員名簿により委員紹介を行った。 3. 市長挨拶 委員会に先立ち河井市長から挨拶があった。 4. 会長及び副会長の選出 山崎委員を会長に、岡井委員を副会長に選出した。 		

	<p>5. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の役割及び運営（資料1、別紙1、別紙2） 事務局より、資料1・別紙1・別紙2を基に説明し質疑応答を行った。 <p>(2) 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環の拠点創出事業の概要（資料2） 事務局より、資料2を基に説明し質疑応答を行った。 ・自転車利用者アンケート調査（資料3、別紙3） 事務局より、資料3・別紙3を基に説明し質疑応答を行った。 アンケートについては、一部修正し取り組むこととした。 <p>6. その他</p> <p>次回の委員会は、事務局より後日、通知することとした。</p> <p>7. 現地視察（別紙4）</p> <p>別紙4を基に、木津本町を車窓から、上狹南部地域を徒歩で視察した。</p> <p>8. 閉会</p>
審議経過要旨	<p>1. 開会 審議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 委員紹介 審議結果要旨のとおり。</p> <p>3. 市長挨拶 審議結果要旨のとおり。</p> <p>4. 会長及び副会長の選出 審議結果要旨のとおり。</p> <p>5. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の役割及び運営（配布資料 資料1、別紙1、別紙2） 事務局より、資料1・別紙1・別紙2を基に説明し質疑応答を行った。 主な意見・質疑等は次のとおり。 (○…質疑・意見、→…質疑に対する返答) ○委員会の役割の中で調査及び審議とあるが、調査の取組イメージはどのようなものか。 →調査としては、自転車利用者へのアンケートを予定している他、地域資源について事務局で調査を行い、この委員会で議論をお願いしたい。

(2) 協議事項

- ・環の拠点創出事業の概要（配布資料 資料2）

事務局より、資料2を基に説明し質疑応答を行った。

主な意見・質疑等は次のとおり。

(○…質疑・意見、→…質疑に対する返答)

○これまでに茶問屋ストリートで石畳の計画もあったが、事業費の中に含まれているのか。

→山城町時に提言を貰っている内容であるが、今回は、まず人が集まる拠点施設を作り、次のステップとして景観の機運を高めていきたい。

○サイクリングロードを活かすためにも、木津町や恭仁宮跡といった魅力ある様々な文化遺産の活用を考えていくべきではないか。

→今回は市の中でのモデルケースとして取組であり、いろいろと考えていきたい。

○建築物の保全は今がぎりぎりのタイミングという思いである。今回の取組はいいことであるが、景観条例をすぐにとは難しいが、保全が好ましくらいのことは発してはどうか。

→市が規制をかけることは難しい。茶の香りやこれまでの保全の思いを、より認識してもらい、次の段階で検討していく内容になってくると考える。

○自転車を活用した地域振興や観光振興は全国的にも取り組まれている。しかし全てが成功している訳ではない。この地域は奈良・京都の中間に位置し既に自転車道もあるという好条件地である。

サイクリングステーションの運営も色々あり、良い面、悪い面も含めて、それらの調査をしてみてもいいのでは。

次に自転車利用者はいろいろと幅が広い。どこにターゲットを絞るのかが重要であり、そこを見誤ると厳しいと考える。

○嵐山から木津そして奈良に自転車道でつながっているのか。

→これまで繋がっていなかった木津川市の部分が整備され、一部自転車道ではないがつながっている。

→奈良県内は県が整備している自転車道になっている。

○この地域でサブネットワーク的な視点も含め、トイレや休憩所なども含めてマップづくりも課題にしてはどうか。

○木津川サイクリング俱楽部では、インターネットでモデルコースを紹介している。観光協会の補助で山城や加茂のコースの他、和束町から補助

をもらう中で和束町へ抜けるルートも作った。

○いろいろなマップがあるのであれば、そういうものも行政と一緒に活用してはどうか。

○茶問屋街を訪れる観光客はどれくらいか。

→現状は少ないが、それぞれの主体でイベント等も企画しており、そういった時は多くの訪問がある。

○以前の調査の際、住民の機運として8割は景観を整備したいという結果だった。また木津本町辺りでは、建物の階数制限などの声も出ていた。

○観光協会でも、さまざまな散策ルートを作っている。

・自転車利用者アンケート調査（配布資料 資料3、別紙3）

事務局より、資料3・別紙3を基に説明し質疑応答を行った。

アンケートについては、一部修正し取り組むこととした。

主な意見・質疑等は次のとおり。

（○…質疑・意見、→…質疑に対する返答）

○自転車アンケートは2種類あるが、それぞれの取組イメージはどのようなものか。

→ひとつは、事務局が現地へ出向いてアンケートを行いたい。もう一方はサイクリングクラブ等を対象にしたい。

○問1は内容が同じなのに文言が異なっているが意味はあるのか。

→再度、アンケートの内容を確認し修正する。

○アンケートのサンプリングがカギになると思うが、ショップやクラブはレベルが高いと思う。それよりも自転車道を走っている方の場合は生の声を聞くことができる。

自転車道の利用者は時間帯で異なる。朝はプロ的な方、昼は家族などピクニック的な利用である。

○同行者について質問してはどうか。

○子どもと一緒に際、自動販売機を見つけて給水するのも一苦労である。ぜひ施設には子どもの目線も含めてみてはどうか。

○これまで、上狹で観光案内をしたのは徒歩で来られる方ばかりであつ

た。

○これからは自転車で来られる方にも歩いてもらってもいいのでは。

○休日や週末に自転車の方を見るが、数は少ないイメージである。自転車道の終点に看板などでPRすることで呼び込めるのではないか。

○過去の調査でお茶を売っていない。飲ましてもらえないという声もあった。

○拠点にもサロン的要素があれば、観光案内所も含めることも可能であることから複合的視点が必要である。

○今回のアンケートはレジャーの方を対象にしており、例えば健康を目的としている方は答え辛いのではないか。少し工夫をしてはどうか。

○一般の人も来るような施設、直売所であったり、様々な目的を持つ人が混ざった方が活性化する。

○ぜひ商売に結びつけるべきである。

○拠点を整備する上で失敗例にはどういうものがあるのか。

→ハコモノである。かつて補助金を使って建てたもので残念な状態になっているものがある。全国人気ランキング7位（2010年 日本経済新聞 何でもランキング おすすめのサイクリングコース）である。この自転車道の終点から500メートルの距離であり、サイクリングだけでなく、ジョギング・ウォーキングを組み合わせるスポーツ的施設もひとつである。そこで地域の情報を得るということも大事である。

ハードだけでソフトが無い所は失敗している。

○既に自転車道を利用している方でも終点まで行かない方も多い。現在は拠点が無いので、気軽に立ち寄れるスポットがあるのはいい。

○自転車利用は、退職した方は平日に、若い世代は土・休日である。

○自転車道で言えば、玉水橋・八幡で休憩している人をよく見かけるが、最近は府道上狛城陽線でも多く見る。人を引っ張り込むには、お茶でも目的があればいいと思うが、複合施設があればいい。

○これまでから道の駅的なものを要望しているが実現に結びついていない

	<p>い。</p> <p>6. その他 次回の委員会は、事務局より後日、通知することとした。</p> <p>7. 現地視察（別紙4） 別紙4を基に、木津本町を車窓から、上狛南部地域を徒歩で視察した。</p> <p>8. 閉会</p>
その他特記事項	傍聴者2人